

発行/NPO法人

市民活動サポートセンターいなぎ

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話042-378-2112

FAX042-378-6971

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

## ●市民活動フェスティバル2007●

市民活動サポートセンターいなぎは、開設して3年目を迎えました。この間、NPO講座、タウンウォッチング・登録団体交流会などのイベント、金曜サロンやニュースレターの発行などを行い、市民活動の輪も確実に広がりにつつあります。

その輪をさらに広げるため、「市民活動の交流の場」「ネットワーキングの場」として、さる6月24日に「いなぎ市民活動フェスティバル2007」を開催しました。

そこで、今回は2ページにわたって、その様子を紹介いたします。

### 第一部 パネルディスカッション

#### 「見つめよう稲城 育てよう稲城の宝」

#### ちょっと休憩・・・

#### 音楽でリフレッシュ

午前中に行ったパネルディスカッションで疲れた頭を休めるために行ったミニコンサートは大好評でした。



▲佐藤誠二さんのギター弾き語り



▲いなぎ二胡サークルの演奏

パネラーは川島寛さん(NPO法人いなぎ里山グリーンワーク代表)、藤森良子さん(NPO法人支え合う会みのり理事)、坂本佳菜子さん(ヒップポアミークラブ代表)、石田記章さん(いなぎ太鼓代表)の4人、コーディネーターは小林攻洋さん(サポートセンター理事)で、福祉、教育、自然環境、文化・まちづくりなどの話題を通じて、稲城の宝を育てる方向について討議していただきました。

パネラーもコーディネーターも稲城市民という、市民手づくりの企画であったこと、その上テーマも身近なものであったためか、語る人も、聞く人も熱が入り、フロアからも活発に質問や意見が出され、大いに盛り上がりました。

また、パネラーの組み合わせが地元で生まれ育った方が2人、新しく稲城に移り住んできた方が2人ということもあり、今後の活動に大変参考になる、示唆に富んだ話題が飛び出しました。

ここで出された提案を、今後どう実践に結び付けていくか、これからも引き続き考えていく必要のあるテーマでした。



## 第二部 ワークショップ

### 「上谷戸ホタルの里」 ウォッチングコース

上谷戸親水公園の「ホタルの里」を訪れ、野草や野鳥、トンボ、水生生物などを観察し、その後、ワークショップで上谷戸の将来像を皆んなで描いてみました。

参加者15名



### 穴澤天神社などの見学コース

穴澤天神社探索までの間、妙覚寺、ありがた山石仏群、八雲神社、威光寺弁天洞窟など、いなぎの宝を見学して歩きました。

参加者10名

<協力：サークル  
歩知歩知>



介護の現状を見学し、福祉施設の社会的意義や責任、ボランティア活動の重要性などを考えてみました。

参加者18名

### 福祉の里 いなぎ苑コース



### 「楽しく語り合い みんなで 遊びましょう」 をテーマに 振興プラザ4階で

- ① 「いろんな国の言葉で遊ぼう」 <協力：ヒッポファミリークラブ>
- ② 「ケナフで紙すき、絵はがき作り」 <協力：稲城ケナフまちづくりの会>
- ③ 「竹笛を作って遊ぼう」 <協力：稲城生涯うでっこきの会>

参加者全員が3つのブースを回って体験し、楽しみました。

参加者推定35名



六月

## 「いなぎの今昔を フィルムでたどる」

話し手：浜田芳子さん・浜住治郎さん

「子ども、虫、小鳥が好き。それを見ているうちに、だんだん変化していることに気づき『変わっているよ』ということ映像の中に込めた。解説や主張はありません」と芳子夫人は故浜田英夫映像作家について語っていました。

実際当日放映された2本の50年に亘る記録映画を拝見しても、淡々と事実の説明が有るだけでしたが、見る側には、深く深い感動が伝わってきました。人間は変化していくものに慣れ易く、良きも悪しきも記憶として深層に残っていても、現実を素直に受け入れる習性があると改めて思いました。

特に時代劇に見られるような風景から、瞬時に高層ビルの林立する町並みに変化したいなぎの街の映像を見て金サロに集まった人達は、しばし声が出ませんでした。

放映後の団楽では、「浜田英夫氏はいなぎの風景を残すことに情熱を感じておられた」「何10年も撮り続けることの、凄さを感じた」「戦後見聞記では映像の中に知人を見つけた」等々の感想が述べられました。(佐藤)

※浜田氏の追悼上映会は、9/30・12/2にも城山体験学習館で予定されています。

七月

## 「特養老人ホームにおける 看取り介護」の取り組み

話し手：永田 穂積さん

いなぎ苑の施設長、永田さんは、職員と一緒に「かかわった数だけ信頼が生まれる」を大事なフレーズとして、運営にあたっていると、静かに話されました。

現在は、人生の終末の場所として「自分らしく最後まで」を生きるため、ホームを選択する人が増加しているそうです。

終末(ターミナル)ケアとは医療の用語で、病院では延命のための医療を行なうが、ホームでは生活の場で、看取り介護を行なうのだそうです。私たちにとって余り聞き慣れない言葉ですが、看取り介護の基本3箇条というのは ①点滴をしない ②酸素を流さない ③喉ごしの良い食事をつくることで、穏やかな最期を迎えられるようにしているそうです。

昔のように、家で家族に看取られ、子どもも、厳粛な場面に直面することで、命の尊さを自然に学ぶということが、家族構成の変化のためか、現在では出来にくくなってきたようです。

苑では、ホームでの終末を希望する方に、「利用者に寄り添い、孤独を感じさせないよう、昔の思い出話を聞き、その中から人間の尊さを学ぶ」をモットーに、待ちの姿勢ではなく、積極的な心のもった看取りを、目指しているとのことでした。参加者は(筆者も含めて)近い将来、関わりが出来るような方が多く、とても有意義なお話でした。(佐藤)

## ガンバってます

12



▲市民活動フェスティバルで成果を発揮

平成14年に行われた市民企画による公民館主催事業「誇れる我が町 稲城を知ろう」の講座修了者を中心に発足したサークルだそうです。活動内容は「稲城の歴史・文化の学習会」「文化財などのビデオ鑑賞会」にはじまり、最近は講師を迎えたり、勉強してきた会員が案内役となつての歴史散歩に活動の主軸が移っているようです。現在の会員数は16名、

無理はせず  
楽しく歴史を歩く

ほちほち  
「サークル歩知歩知」

代表：小林幸子さん

「無理はしない。自分たちで少し勉強しながら、とにかく楽しく歩きましょう」がモットーと代表の小林さん。定年退職後に稲城のことを知りたいという男性の受け皿にもなっているとのことでした。

最近、当初に勉強会の講師を務めていただいた高橋正幸先生に案内役をお願いし、「多摩の自由民権運動」をテーマに、町田や五日市、府中など、市外にも足を延ばしているとのこと。

名前の由来「ほちほち歩きながら、勉強しようよ」のように、あわてず、確実に前進し、楽しんでおられるようです。

6月に行われた、いなぎ市民活動フェスティバル2007のワークショップでは「穴澤天神社などの見学コース」の企画・案内役として、「サークル歩知歩知」の皆さんに、これまで培ってきた成果を大いに発揮していただきました。

まちづくりの原点は、正にまちを歩いて知ることにあるようです。(小林)

幼児向け  
子育て応援  
フェスタ  
PartⅢ

## ひとりじゃないよ! みんながいるよ!!

—中学生も参加する子育て支援の輪—

- 開催日 9月22日(土)  
10:30~12:30(開場10:00)
- 会場 稲城市地域振興プラザ 4階

- ★子育て中の方とそのお子さん、そしてこれからお母さん、お父さんになる方も
- ★子育てを応援したいと考えている方も
- ★その他、関心のある方ならどなたでも

親子で楽しめて  
子育て情報が満載!!  
ちょっとした  
プレゼントも...



- 主催/稲城市地域家庭教育推進協議会
- 共催/市民活動サポートセンターいなぎ
- 企画・運営/子育て応援フェスタPartⅢ実行委員会
- 協力/子育てサポーター・稲城市立稲城第四中学校・稲城市子ども家庭支援センター
- ◎問合せ/稲城市立第四公民館

☎042-377-4406

理事会

ほうこく

6月11日 .....定例理事会

- ・事務局・各プロジェクトの報告
- ・議事
- ①事務局体制について
- ②市民活動支援基金チャリティーコンサートについて

た。選りていく内容だつた。これからは同じような団塊世代の方々が地域デビューされるであろう。いよいよ我々の番だ!!! (廣田)

編集後記

6月、N新聞で「会社人間」を辞めた後」という特集記事を目にした。

会社の流儀と地域活動とのギャップに悩みながらも仲間に助けられ地域社会との関わりを選択して

午後7時~9時

### 金曜サロンスペシャル

- 9月7日(金)
- ・話し手:松崎克己さん  
(向陽台在住)
- ・テーマ:「地球の反対側  
千里で日本語教育」

会社勤めをしながら公民館で「外国人のための日本語教室」のボランティアをしていた話し手の松崎さん。定年後はJICAのシニア海外ボランティアとして、2年間千里で日本語を教えていました。

千里の大学生と心でも通じ合えた2年間の体験談を、聞いてみませんか。



▲7月14日に、クーペ&Shifoのユニットを迎えて、市民活動支援基金チャリティーコンサートが、(子どもの森ホール)(矢の口幼稚園内)で行われました。

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています・・・年会費3,000円